

## 【目次】

1. 政治・社会運動史研究会「和田春生を語る」を開催、3月19日！
2. 労働運動、社会運動に関する資料の寄贈を受けました！
3. ユニテリアン教会・惟一館（現友愛会館）建設から125年、3月25日！
4. アジア連帯委員会CSA評議員に参加、3月22日！
5. 働く文化ネットの労働映画観賞会が3月14日開催、クラシックライブは3月27日開催へ！

### 1. 政治・社会運動史研究会「和田春生を語る」を開催、3月19日！



全労会議書記長などを務めた和田春生（1919.3.15～1999.10.17）は、政治家や評論家としても活躍しました。2019年3月15日は、その和田春生誕生100年。友愛労働歴史館はこれを記念し、第19回政治・社会運動史研究会「和田春生を語る―一生誕生100年・没後20年」を、3月19日（火）午後に開催しました。

研究会では最初に間宮悠紀雄友愛労働歴史館事務局長が、レジュメ「労働運動家・和田春生を語る」を元に、パワーポイントを活用した報告を行いました。続いて梅澤昇平尚美学園大学名誉教授（友愛労働歴史館研究員）が、レジュメ「政治家・和田春生を語る」を参照しつつ、パワーポイントを活用した報告を行いました。

報告内容を省略し、和田春生について簡単にまとめると、彼は海員組合の出身で総評結成準備会に出向し、島上善五郎（総同盟。総評初代事務局長）、三戸信人（新産別）とともに「規約」、「基本綱領」、「大会宣言」を分担執筆しています。また、和田は総評結成大会では「規約」の提案、会計報告、予算案提案などを行い、中央労働界に鮮やかなデビューを飾りました。

結成後の総評が国際自由労連加盟を否決すると、基本方針の逸脱と批判し民労連運動に参加。そして1954年の「4単産批判」の取りまとめを行います。海員組合、全織同盟、全映演と再建総同盟は1954年、全労会議を結成。和田春生はその書記長を10年間務め、近江絹糸人権争議や三井三池争議を指導しました。後に滝田実全労議長（全織同盟）は和田を「あまりに理論が鋭く透徹していた」と評しています。1964年に同盟副会長に就任。1969年に民社党公認で衆議院議員、1974年には参議院議員となり、政治家として活躍。政界引退後は評論家として活躍しています。

友愛労働歴史館は開催中の企画展「民社党結党60年―勤労国民政党的旗を掲げて―」（2018.1.7～6.28）の一部に「和田春生」コーナーを設け、期間中（2019.3.15～4.15）は和田の愛用したカメラ、ウキスキーグラス、著書や写真集、選挙パンフなどを展示しています。

### 2. 労働運動、社会運動に関する資料の寄贈を受けました！

2019年3月中に電力総連関係者から新進党その他の資料の寄贈を受けました。また、連合関係者から民社研全国研究集会報告書、その他の資料の寄贈を受けました。さらに旧鉄労関係者から社会運動関連資料の寄贈を受けました。心より感謝いたします。

### 3. ユニテリアン教会・惟一館（現友愛会館）建設から 125 年、3 月 25 日！



明治 22(1889)年、福澤諭吉や金子堅太郎らの招聘により来日した米国ユニテリアン協会のクレイ・マッコレーイ牧師らは明治 27 (1894) 3 月 25 日、東京・芝の地にユニテリアン教会・惟一館（設計・ジョサイア・コンドル）を建設し、標語「至誠・正義・雍穆」を掲げ、自由基督教の活動拠点としました。

ユニテリアン教会のメンバーは、後に教会を離れ、①政治・社会運動の分野、②教育や文学、著述の分野に進んでいきました。①政界に進んだメンバーに小山東助、星島二郎、永井柳太郎、内ヶ崎作三郎、安部磯雄、河上文太郎、大山郁夫がおり、友愛会系労働運動に進んだメンバーに鈴木文治、松岡駒吉、市川房枝がいました。

また、学校教育・文学では内藤濯、今岡信一良、岡田哲蔵、帆足理一郎、原一郎、工藤直太郎、三並良、会津常治、武田芳三郎、坪田譲治、吉田絃二郎、沖野岩三郎、一条忠衛、加藤一夫、岸本能武太らがいました。

彼らの進んだ道・方向、思想・立ち位置は、様々であり、幅広いものがあります。しかし、ユニテリアン精神を現実社会に実現しようとした点では共通とされています。それはユニテリアン・ミッション（「自由の拡張」「社会問題の解決」）と呼ばれ、惟一館がその拠点でした。

### 4. アジア連帯委員会 CSA 評議員会に参加、3 月 22 日！

アジア連帯委員会 CSA 第 17 回評議員会が 3 月 22 日（金）午後、連合会館で開かれました。日本労働会館から間宮悠紀雄友愛労働歴史館事務局長が出席しました。

評議員会の詳細は略しますが、今年もアジア連帯委員会は、①救援衣類を送る活動、②小学校の建設・補修活動、③高校生寮の支援活動などに取り組んでいきます。

### 5. 働く文化ネットの労働映画鑑賞会が 3 月 14 日開催、クラシックライブは 3 月 27 日開催へ！

NOP 法人働く文化ネットの第 56 回労働映画鑑賞会が 3 月 14 日（木）夜、連合会館で開かれました。上映されたのは東京のインドカレー専門店でききた店舗閉鎖、外国人労働者の解雇問題をとり上げた記録映画でした。



また、3 月 27 日（水）12：10 から連合会館 1 階ロビーで、「100 万人のクラシックライブ」（入場無料・主催は総評会館）が開かれます。ヴァイオリン（望月茉莉奈）とピアノ（宮野志織）のミニコンサートで、昼休みの限られた時間帯。でも「普段着で聴けるクラシック。耳ではなく、全身で聴く」（チラシ）ことを目指しています。

「人間の尊厳、進歩と発達のために」

発行：友愛労働歴史館

責任者：徳田 孝蔵

担当者：間宮悠紀雄

〒105-0014 港区芝 2-20-12

友愛会館 8F

Tel.050-3473-5325

Eメール [yuairekoshikan@rodokaikan.org](mailto:yuairekoshikan@rodokaikan.org) HP <http://www.yuairekoshikan.com>

惟一館から 125 年、友愛会から 107 年